

標 題 : Mediterranean diet and mortality risk in metabolically healthy obese and metabolically unhealthy obese phenotypes
代謝的に健康な肥満および代謝的に不健康な肥満の表現型における
地中海食事と死亡のリスク

著 者 : Y. M. Park, et al. (米国 サウスカロライナ大学
公衆衛生の Arnold School 疫学・生物統計学科)

掲 載 誌 : Int. J. Obes. (Lond). 2016 Jul 19. [Epub ahead of print] (印刷前の電子出版)
〔印刷版は Int. J. Obes. (Lond). 2016 Oct; 40 (10): 1541-1549〕

要 旨 :

背 景 : 地中海食事は、低い死亡リスクと一貫して関連してきた。
地中海食事からの効能が代謝的な健康が異なる肥満者によって平等に分配されるかを、少数の追跡研究が調べてきた。

目 的 : この研究の目的は、地中海食事、代謝表現型と死亡リスクとの間の関連を代表的な肥満の米国の人々で調べることであった。

方 法 : 追跡コホート解析で National Health and Nutrition Examination Survey (国民健康栄養調査)Ⅲ、1988-1994年の参加者の死亡を2011年12月31日まで追跡した、20-88歳の成人1739人からのデータを解析した。
地中海食事の順守を評価するために地中海食事スコアを作成した。
高血糖、インスリン抵抗性、血圧、トリグリセリド、C-反応性タンパク質および低HDLコレステロールに基づいて、参加者を代謝的に健康な肥満表現型(代謝の異常が0か1)または代謝的に不健康な肥満表現型(代謝の異常が2以上に分類した。

結 果 : 代謝的に健康な肥満表現型(n=598)が肥満者の34.8%(標準誤差1.7%)に認められた(代謝的に健康な肥満表現型でBMIが33.4、不健康な肥満表現型ではBMIが34.8)。

中央値18.5年の追跡中に、代謝的に健康な肥満表現型の人では77件(12.9%)、不健康な肥満表現型の人では309件(27.1%)の死亡があった。

代謝的に健康な肥満表現型の人で、潜在交絡因子を調整した後で地中海食事スコアの最高(3段階)と1番目を比較した総死亡率の多変量調整ハザード比(HR)は0.44(95%信頼区間(CI) 0.26-0.75、動向のP<0.001)であった。

地中海食事スコア順守の5点(1標準偏差)上昇は、総死亡率リスクの41%低下と関連した(HR,0.59;95%CI,0.37-0.94)。

参加者の糖尿病および高血圧の有無に我々の解析を限定したときに、同様の

結果が得られた。

代謝的に不健康な肥満表現型の人々に我々は死亡リスクの低下は認められず、全ての肥満参加者をまとめたときにも死亡リスクの低下は認められなかった。

結 論： 地中海食事パターンの順守は代謝的に健康な肥満表現型で死亡率を低下させると見えるが、肥満者のうち代謝的に不健康な肥満表現型では低下させない。
